

[ライフ・イノベーション分野]
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和6年度

国際医療交流の拠点づくり 「りんくうタウン・泉佐野市域」地域
活性化総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i)、ii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

4.3

i)取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	国際医療交流の推進	77%	3
2	訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進	153%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4$

4.0

※1)1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。

(例)評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2)数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii)取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

-

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.7

III 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.7

・観光分野(消費額・満足度・ガイド活動)は大きな成果が得られていると思う。消費額・満足度は高いが、一過性に終わらせないために滞在時間延長策(体験商品の造成、宿泊拡充)が必要と考えられる。一方、医療分野の数値目標達成率は低調(60~88%)に推移しており、全体のスコアに反映されているものと考える。

・本特区は、関西国際空港の目の前という立地特性を最大限活かし、国際医療交流の推進と観光振興を有機的に結びつける取組を着実に実施している点を高く評価できる。

・本特区は国際医療交流と観光振興の両面で顕著な成果を挙げつつあり、更なる発展の基盤が整っているものと考えられ、優れた取組であると評価できる。

・観光まちづくり分野に比べライフィノベーション分野の取組が低調である点が気になる。前年度の実績を上回った点は評価できるが、課題・ターゲット・ニーズを見定め次年度の目標達成に期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.7

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.3+3.5+3.7 \times 2)/4=3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5~1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。